



理科の授業における協力学習

(二) 実践内容と方法
1 集会活動

月曜日の朝の二十分間を朝会とし、この時間に生徒発表の場も設け、充実した発表活動が行われた。

全校集会においては、生徒会執行部が中心となり、テーマ、月日、ねらい等運営全般にわたり展開した。生徒の手による計画・実践・評価・改善をくり返し、よりよい集会活動のあり方に努めた。

2 委員会活動

① 生徒会と各専門委員会委員長間の連絡調整を図った。

② 毎月の定例化された専門委員会と生徒委員会によって、学校生活の問題点がより具体的にになった。

〔資料4〕「授業参加の自己評価カード」

(S 62.5, S 62.9 実施)

	項 目	1 年		2 年		3 年	
		5月	9月	5月	9月	5月	9月
計画学習	前の授業の基本的事項を理解しているか。	3.2	3.6	2.6	3.6	2.3	3.6
	家庭学習(予習・復習)をして授業にのぞんだか。	3.3	3.7	2.4	3.5	3.3	3.8
	学習のめあて・順序・方法がわかったか。	3.4	4.2	2.5	3.6	3.2	3.9
協力学習	自分の疑問点や問題点を意欲的に解決しようとしたか。	2.9	3.8	2.2	3.8	2.9	3.4
	グループ学習で1回以上発表できたか。	3.0	3.4	2.4	3.4	2.3	3.2
	積極的に発表し、協力しあって問題解決ができたか。	3.4	4.0	2.6	3.6	2.1	3.9
	先生の話、友達の見解をよく聞くことができたか。	3.8	4.2	2.0	3.2	3.4	3.8
評価学習	わからないことは積極的に質問し解決しようとしたか。	3.2	3.6	2.1	3.4	2.9	3.2
	学習事項をノートし、整理できたか。	3.9	4.1	2.8	3.4	3.0	4.1
	学習したこと的基本的な要点を理解できたか。	3.3	3.7	2.6	3.2	3.2	3.9
	疑問点を解決したか。	3.2	3.8	2.4	3.4	2.9	3.4
	次の時間までの準備(予習・復習)がわかったか。	3.5	3.9	2.5	3.6	2.8	3.4

評価は5段階とする。5-たいへんよくできた ~3-普通である ~1-あまりやらなかった。

〔資料5〕「生徒活動自己評価カード」

(生徒活動部門) 5段階評定

	項 目	5月	6月	7月	9/9
学級会活動	学級の一員としての自覚を持ち、協力的な態度であったか。	3.1	3.3	3.3	3.6
	学級での係り活動を積極的にを行い、自分の責任を果たしたか。	2.7	3.1	3.3	3.5
	活発に自分の意見を述べ、学級をよりよくしようと努めたか。	2.7	3.1	3.1	3.5
クラブ・部活動	休むことなく練習に参加してきたか。	4.9	4.8	3.9	4.7
	積極的に活動に取り組み、自分の能力を伸ばそうとしてきたか。	4.0	4.2	4.4	4.5
	部員と協力しながら活動がより充実するように努めたか。	4.0	4.1	4.2	4.3
	人間的に向上しようと努力してきたか。	3.8	4.2	3.9	4.1
生徒会活動	生徒会活動で自分の意見を積極的に発表したか。	2.6	2.7	2.9	3.3
	生徒会活動に積極的に参加し、生徒会をよりよいものにしてきたか。	3.1	3.2	3.4	3.5

3

① この活動を基盤に、全校集会では積極的に自分の意見を発表した。校内放送での発表

② 毎朝交代で、一人三十秒の朝のあいさつと、今日一日充実した生活をしようという呼びかけを行っている。

③ 昼食時にも、朝の放送者による発表を行う。内容は、私の推薦する本の紹介、趣味について、将来

4

① 学級づくりの充実
このこと等、自由な発想のもとに発表させている。

② 自己評価カードの活用
問題点の把握、問題解決への実践、反省、訓誨の過程をくり返ししていく。

③ リーダーの育成
生徒会役員・学級委員・班長・地区委員・部活動の部長・教科係等

④ フォロアーの育成
は、次の場を確保し、指導している。(学年集会・学級会活動・ボランティア活動・学校行事)

⑤ 教育相談の充実

